

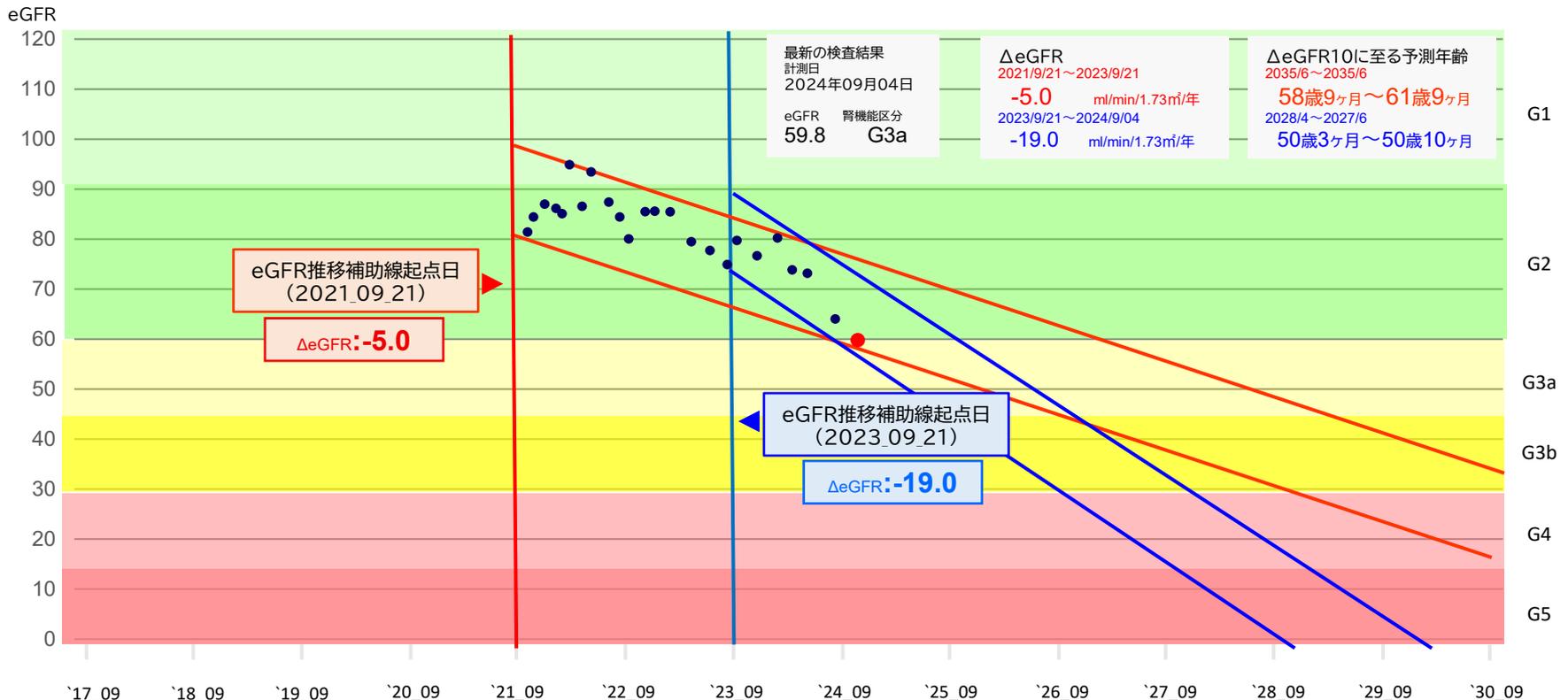
検査値を活用した診療サポートツール



腎機能評価ツール【Long term eGFR plot】

LTEP(Long term eGFR plot : エルテップ)とは、得られる全てのeGFRの長期推移を一括表示したものです。

腎機能が直線的に低下する場合、血清クレアチニン値は指数関数的に上昇するため、腎機能が相当低下するまで気づくことが困難です。一方、eGFRは直線的に下降するため、より早期から腎機能低下に気付くことができます。しかし、eGFRは普段から相当大きく変動しており、短期間(1~2年程度)の観察では、観察期間におけるeGFR値の低下量の変動幅に埋もれてしまい、その低下に気付くことが困難です。eGFRの長期推移を一括表示することで、eGFR変動の影響を排除した実際のeGFR推移を確認することができます。また治療介入の腎機能推移に及ぼす影響もLTEPで明らかとなります。

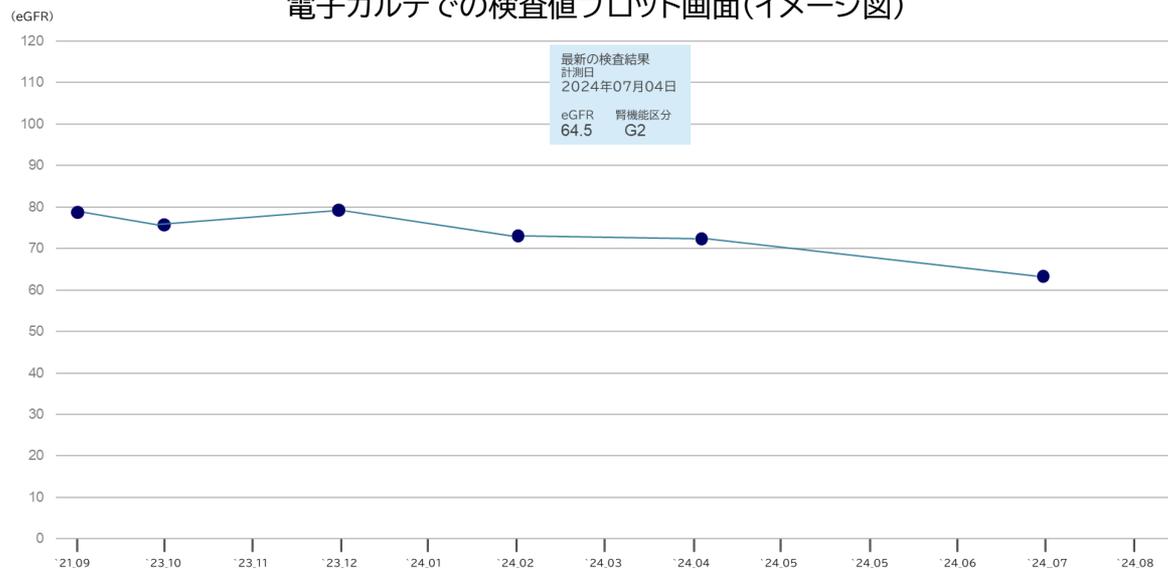


外部検査会社様より、過去のeGFR値、クレアチニン値を抽出して頂く事で長期検査値を用いてLTEPをご利用いただく事ができます。
(※:連携している検査会社様により、過去検査値データを抽出頂ける期間が違います。詳しくはお問合せください。)

監修: 地方独立行政法人 市立大津市民病院
内科(腎臓内科部門)・血液浄化部 部長
滋賀医科大学 客員助教 中澤 純 先生

1～2年程度の短期的な観察では、経時的な低下がマスクされてしまいます

電子カルテでの検査値プロット画面(イメージ図)



長期的なeGFR推移を一括表示し補助線を描画する事で腎機能低下の早期発見につながります

